

平成28年 6月20日

株主の皆さまへ

東京都千代田区外神田四丁目14番1号



株式会社 **アクセル**

取締役社長 松 浦 一 教

## 第21期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、平成28年6月18日開催の当社第21期定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申しあげます。

敬 具

記

**報告事項** 第21期（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）事業報告及び計算書類報告の件

本件は、上記内容を報告いたしました。

**決議事項**

**第1号議案** 剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、当期の期末配当につきましては、1株につき5円とすることと決定いたしました。

**第2号議案** 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

変更内容は次のとおりであります。

1. 取締役会の監査・監督機能を強化するとともに、業務執行決定権限の取締役への委任による意思決定及び業務執行の迅速化・効率化を図ることにより、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を目指すため、監査等委員会設置会社に移行することといたしました。これに伴い、監査等委員会設置会社への移行に必要な、監査等委員会及び監査等委員に関する規定の新設並びに監査役及び監査役会に関する規定の削除等を行いました。
2. 「会社法の一部を改正する法律」（平成26年法律第90号）の施行に伴い、業務執行を行わない取締役との間にも責任限定契約を締結することが可能になったことを踏まえ、適切な人材の招聘を容易にし、期待される役割を十分に発揮できるようにするため、

取締役（業務執行取締役等であるものを除く。）と責任限定契約を締結することができる旨を規定いたしました。

3. 当社の経営体制に合わせて株主総会及び取締役会の運営について当社取締役の構成に応じた適切な対応を可能とするため、あらかじめ取締役会が定める取締役が株主総会及び取締役会の招集権者及び議長に当たるよう所要の変更を行いました。

4. 上記条文の新設、変更及び削除に伴う条数の変更、字句の修正その他所要の変更を行いました。

**第3号議案** 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）に松浦一教、斉藤昭宏、千代進弘、蟹江幸司の各氏が再任され、それぞれ就任いたしました。

**第4号議案** 監査等委員である取締役4名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役に鈴木眞巨氏が再任され、新たに吉田良樹、三村勝也、五十島滋夫の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、吉田良樹、鈴木眞巨、三村勝也、五十島滋夫の各氏は社外取締役であります。

**第5号議案** 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬等の額決定の件  
本件は、原案どおり承認可決され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬を、従来どおり固定報酬枠と業績連動報酬枠で構成したうえで、業績連動報酬枠を事業年度ごとの業績に基づく「短期業績連動報酬」と、中長期的な業績と企業価値の向上への貢献意識を高めることを目的とした「中長期業績連動報酬」による構成に改定し、固定報酬枠を「年額100百万円以内」、業績連動報酬枠のうち「短期業績連動報酬」を「年額65百万円以内」、「中長期業績連動報酬」を「年額50百万円」とすることと決定いたしました。

**第6号議案** 監査等委員である取締役の報酬等の額決定の件

本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役の報酬額を「年額40百万円」とすることと決定いたしました。

以 上

## 役員人事についてのお知らせ

定時株主総会終了後に開催されました取締役会及び監査等委員会において、役員人事が次のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

代表取締役社長	松浦一教
代表取締役副社長	斉藤昭宏
取締役	千代進弘
取締役	蟹江幸司
取締役 監査等委員（常勤）	吉田良樹
取締役 監査等委員	鈴木眞巨
取締役 監査等委員	三村勝也
取締役 監査等委員	五十島滋夫

\* 吉田良樹、鈴木眞巨、三村勝也、五十島滋夫の各氏は社外取締役であります。

\* 当社は、社外取締役の全員を独立役員として東京証券取引所に届け出ております。

---

## 第21期期末配当のお支払いについて

第21期期末配当は、同封の「期末配当金領収証」により、最寄のゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口でお受け取りください。なお、口座振込をご指定の方には、「配当金計算書」及び『「配当金振込先ご確認」のご案内』をご送付申しあげましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。



ユニバーサルデザイン（UD）の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。